

見落としがちなデバイス保護のポイントをチェック
いま取り組まなければならない
セキュリティ対策 デバイス編
デバイスを適切に管理することで、
セキュリティリスクを低減する



はじめに

セキュリティのため、デバイスを適切に管理する

様々な働き方が進められている今、リモートワークも導入も進んでいます。その結果、多くの社員がノートパソコン、スマホをビジネスで活用するようになっていきます。こういった背景から、デバイスの管理によるセキュリティ対策の重要性は高まっています。

本資料では、ユーザーの利便性を考慮した環境でデバイスを守ることの重要性や、デバイス＝エンドポイントでのセキュリティの手法などについて解説します。企業や組織全体で情報資産を守る仕組みづくりのご参考になれば幸いです。

INDEX

はじめに	1	社員の利便性を損なわず、デバイスのセキュリティを高める	14
セキュリティのため、デバイスを適切に管理する			
第1章 セキュリティの最前線 デバイスのセキュリティ		第3章 最新のデバイスセキュリティツールとは	
セキュリティを考える際の3つのポイント	4	1. VMware Carbon Black Cloud	16
リモートワークの普及でデバイスでのセキュリティリスクは高まっている	5	2. Sophos Intercept X Advanced	17
1. 紛失や盗難によるリスク	6	3. VMware Workspace ONE	18
2. シャドーITのリスク	7	4. Extic	19
3. デバイス経由のウイルス、マルウェア感染	8	5. Zscaler Internet Access/Zscaler Private Access	20
第2章 デバイスを守る エンドポイントセキュリティ		おわりに	21
守るべき4つのエンドポイント	10	会社全体でデバイスと情報を守っていく	
エンドポイントセキュリティの手法	11	企業情報	
EDR、EPP、DLP、NGAVとは	12		
最新のセキュリティの考え方 ゼロトラストセキュリティ	13		